

S-35

伊九型潜水艦一般計画要領書(改正)

海軍艦政本部

(1585)

昭和七年五月廿六日(海軍省機密)

來 歴

昭和十二年七月十四日 艦本機密、決第二〇八号 決裁ノモリヨリ 左記理由ニ
ヨリ 改正セリ

- 一 二号空油搭載ニ計画変更
- 二 船体 兵器 機関等重量区分表ノ変更
- 三 一般計画要領書様式ノ変更
- 四 詳細計画進捗ニ伴フ計画変更

伊9-2

一	重要寸法等	四
二	砲熳兵装	六
三	水雷兵装	八
四	航海兵装	九
五	光学兵装	九
六	電気兵装	九
七	無線兵装	〇
八	航空兵装	〇
九	機関	一
十	乗員数	一
十一	主要ナル機装等	三
十二	量	三
十三	復原性能 航 施回性能等	五
		七

一 重要寸法等

垂線間長

全長

吃水線長 (IWL)

吃水幅

吃水線幅 (IWL)

深

「キールライン」ヨリ上部構造物側線迄	(米)	八・二五五
「キールライン」ヨリ司令塔頂面迄	(米)	一〇・〇三三
「キールライン」ヨリ主橋天蓋上面迄	(米)	一三・三八五
「キールライン」ヨリ潜望鏡支材上端迄	(米)	一三・九三五
「キールライン」ヨリ「バラストキール」下面迄	(米)	四・〇〇〇
耐壓船殻直径 (被板外)	(米)	五・八〇〇
耐壓船殻全長 (前後端材ヲ含マズ)	(米)	九三・〇四五

安全潜航深度

排水量（常備標準状態）

前部吃水（常備標準状態）

後部吃水（常備標準状態）

平均吃水（常備標準状態）

排水量（滿載標準状態）

平均吃水（滿載標準状態）

排水量（潜航状態）

（上部機雷物在方「タンク」兵ノ他非水防部ヲ含メズ）

排水量（基準状態）

重油搭載量（軽油共）（二號重油）

滿載標準状態

常備標準状態

（米） 一〇〇・〇

（尺） 三九一九・三

（米） 五・三一

（尺） 五・四〇

（米） 五・三六

（尺） 三六二九・一

（米） 六・二九

（尺） 四一四九・七

（尺） 二四七二・九

（噸） 二四三三・九

（尺） 八七七・六

（尺） 二六八・六

航線砲

水 上 一十六節ニテ

水 中 一三節ニテ

速 力

水 上 一八節ニテ

水 中 一五節ニテ

速 力

水 上 一八節ニテ

水 中 一五節ニテ

(速)

一六〇〇〇

(速)

約三〇

(速)

二三・五

(速)

約八

一、二、四〇〇

二、四〇〇

二 砲煩兵裝

- (1) 主 砲 四十口径十一号式十四種單裝
- (2) 機 銃 九六式二十五種聯裝
- (3) 小 銃 三八式
- (4) 拳 銃 一四式
- (5) 揚 彈 藥 機 十四種砲用
- (6) 彈 藥 教 (卷)

縮射彈藥包	拳銃	同右空包	小銃	機銃	同右空包	十四種砲	種 彈
	一六挺分	四挺分	四挺分	四挺分	同 右	一門分	
	一、九二〇	八四〇	一、二〇〇	四、〇〇〇		一五〇	常備標準狀態
	二、四六四	三、七四〇	四、八五〇	四、四〇〇		一五八	滿載標準狀態 (訓練用彈藥包含)
	四、二〇〇						

一基
二基
四挺
一六挺
一基

(1) 水密彈丸筒及藥包筒

十四種砲水密彈丸筒及藥包筒

二十五種機銃水密彈丸筒 (一個分三〇發)

(他三七五發分上底名同トシテ司令塔内ニ置テ毛トス)

各 二〇筒

四筒

(2) 其他

三. 水雷兵裝

(1) 砲射管

九五式一型 艦首用

六門

(2) 砲射指揮用具

艦本式一型

二基

(3) 空氣壓縮ポンプ

「タンクブロー」用 三号(四〇五立)

四〇筒

(4) 氣蓄器

魚雷裝氣用 六号(四〇五立)

一筒

(5) 魚雷

九五式

一八筒

(6) 方位盤

九二式
一四式改一

一組

(7) 探信儀

九三式四型

二個

(8) 其他

一組

六 電氣兵装

(1) 推進電機機

直流電氣機特六型

電動機

一 二〇〇馬力

發電機

九〇〇KW

(2) 主送電池

二号五型

(3) 補助發電機

110V 直流發電機 五〇〇KW

(4) 二次電源

五五V 五KVVA

(5) 通信機

電球式 三〇燈

(6) 其他

七 無線兵装

(1) 送信装置

特送信機

短波送信機

(2) 受信装置

特受信機

(3) 無線電話装置

(超短波三号無線電話機)

(4) 方位測定装置

長波方位測定機

(中波四号方位測定機)

二基

一七三回轉數(每分)

一三〇一三五〇回轉數(每分)

二四〇基

一基

二基

一基

一基

一組

八組

一組

一組

八、航空兵器

(1) 測波装置

(2) 水中聽音装置

(3) 水中信号装置

(4) 昇降短波檣

(5) 其他

九三式
複式

一式
一組
一組
二組

(1) 飛行機

(2) 射出機

(3) 飛行機格納庫

(4) 其他

十二試潜偵式(複座)
一式
一式(号四型(一八七米))
固定式

一機
一基
一箇

129-11

九
機
類

(1) 主機 内火式 二号十型

(2) 補助馬力及推進軸同轉數 (毎分)

公試全力	特殊公試全力	補助馬力	正床馬力	同轉數
一三、四〇〇	一三、〇〇〇		一四、〇〇〇	三五六
一三、四〇〇	一三、〇〇〇		一四、〇〇〇	三五〇

二
基

(3) 軸系及推進器

軸系

推進器

直径

二、六〇〇

米

(4) 補助機

操舵装置

縦舵

側舵

付舵

揚子機

電動油圧「パラシヤ」式

電動「ジョンネ」式

電動「ジョンネ」式

電動齒車式

一
基

一
基

一
基

一
基

神宮ノ池

十乘白旗(散)

本隊假定員

司令隊假定員

士 百

一〇名

四名

少士 百

下士 百

二名

〇

計

八六名

六名

計

九八名

一〇八名

一 王太子ノ遊樂品類

(4) 砲術用品

一 四冠

二 個

三 羽織

三 笠 三六鞋

長サ二七五米

二 條

細繩

七半内火艇(八馬力附)

一 隻

- (一) 令卸機
- (二) 射撃機
- (三) 長波無線機

炭酸式
ニ五.〇〇〇「キロカロリー」

ニ基(合計五〇.〇〇〇「キロカロリー」)
一基
一組

179-14

名	状	張	常備標準状態	備用標準状態	輕荷標準状態
計			一〇八九・六	一〇八九・六	一〇八九・六
砲			一八六・五	一八六・五	一八六・五
固定装置			三七・四	三七・四	三七・四
砲架(六ラック止)	(移動)	(レスト)	二六五・〇	一六五・〇	一六五・〇
砲			二九・三	三〇・五	一六・九
水			一一六・九	一一六・九	八三・八
航海			三・四	三・四	三・四
光			一三・〇	一三・〇	一三・〇
砲			五五四・九	三五六・九	三五一・五
機			一六・八	一六・八	一六・八
砲			一四・四	一四・四	一四・四
機			五五〇・六	四一〇・六	四一〇・六
一致装置			六二・七	七三・一	三〇・四

179-15

重油	二六・一・四	八六六・九	三一・一
輕油（補助發電機用共）	七・二	一〇・八	一一・一
輕質油（内火使用）	二	三	一
同 右（飛行機用）	一・九	二・八	三
同 滑油	三〇・八	七四・七	五・〇
同 右（飛行機用）	三	四	一
海水其ノ他	七三・四	一三六・一	四一七・五
「メインタンク」内殘水	三五・〇	一三・〇	三五・〇
合 計	二九一九・三	三六三九・一	三九一九・三

29-16

十七 復原性能 蛇 擁回性能等

(1) 復原性能 (水上)

名	精	状	感	常備標砲状態	滿載標砲状態	輕荷標砲状態
排	水	直	(度)	二九一九・三	三六三九・一	二九一九・三
平	砲	水	(米)	五・三六	六・二九	五・三六
「キールラン」	ヨリ	直心迄ノ高サ	(米)	三五五	三・五三	三・五〇
直心ヨリ	横回メ	タセンタ迄ノ高サ	(米)	六四	六六	六九
最大復原	砲	角度	(度)	三九〇	六六〇	四二〇
最大復原	砲	挺	(米)	・三八	・二三	・三一
復原	直	砲	(度)	九〇以上	九〇以上	九〇以上
水	砲	上直心迄ノ高サ	(米)	(-) 一・四一	(-) 二・三六	(-) 一・四六
源	砲	淨力	(度)	一・二三〇・四	五二〇・六	一・二三〇・四
風	砲	砲	直	九一	五九	九一

159-17

(b) 復原性能 (水中)

名	辨	状	長	常備可	状態	満可	状態	可	状態	可	状態
排	水	得	(砲)	二八八四・三	三六二六・一						
重心ヨリ	浮心迄ノ	高ヲ	(米)	三五	三八						

(1) 川 舵及施回性能

七	舵型式及数	下部縦舵	上部縦舵	横舵	舵	滑舵	舵
舵	面積	半平衝舵一	平衝舵一二	平衝舵二	平衝舵一二	平衝舵一二	平衝舵一二
舵	面積	一一・七三	四・三二	一五・三九	九・六七	九・六七	九・六七
舵	面積比 (船体下ノ比)	四四・八	六六・二	四八・四	七七・〇	七七・〇	七七・〇

施回性能

状 態

水上 (常備標準状態) 水中 (衝航状態)

速 力 (節)

二三・五

約六

舵 角 度

三五

三五

動搖周期 (複)	状態	施回中ノ最大横傾斜角度 (度)	施回圈	
			最大横距卜	最大縦距卜
(秒) 八・一	常備標準状態	二・七	全長卜ノ比 (水中)	吃水線卜ノ比 (水上)
			一・五	三・六
			吃水線卜ノ比 (水上)	全長卜ノ比 (水中)
			四・七	三・一